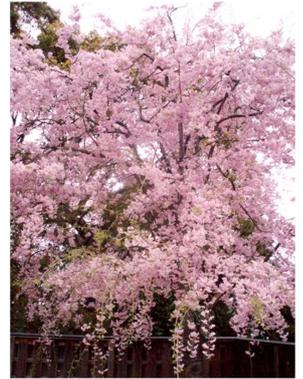




☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

## 春爛漫 ～公園の春を彩るお花見の会～

3月にはいり、梅の香りが辺り一面に漂うようになったかと思うと、枯れ枝ばかりでわびしさが感じられた公園の木々にも、新芽が芽吹きはじめ、あっという間に公園一帯は春らしさが感じられるようになってきました。



春の音が聞かれるようになると、日本各地から桜前線北上の便りが届けられてきます。お花見は、古くから和歌のなかでも盛んに詠まれているように、貴族や武士など上流階級の優雅な行事であったようです。それが江戸時代に入ると、古典落語の“長屋の花見”にもあるように、桜の木の下でお料理を広げながら春のひと時を過ごすのが庶民の楽しみとして定着し、現在に至っています。



ふじやま公園のお花見の会は4月5日(日)開催です。

### お花見の会

- <日 時> 4月5日(日) 10時～13時 雨天中止
- <出し物> ふじやま風お茶席、獅子舞、昇龍太鼓、殺陣、ねんねこ踊り
- <出 店> 甘酒、おでん、五平餅、綿菓子、ジャガバター、蕎麦がき
- <特産品販売> 竹炭、梅干し

## 元気に「筍掘り」に挑戦

「桜」と並んで公園を代表する春の植物といえば「筍」。毎年、たくさんのご家族が楽しみにされている「筍掘り」を、今年も竹林整備の一環として行います。

筍は、ちょこっと頭を出したころのものが美味しいのですが、それを見つけるのが一苦労。ご家族で元気に挑戦してください。夕食のおかずにも、お酒のつまみにも最適。ご自分で掘った筍の味は格別かもしれません。



### 筍掘り

- <日 時> 4月19日(日) 9時～12時
- <募 集> 25組(1組4名まで)
- 申し込みは往復はがきで 3月31日(火)締切です。

## ◆ふじやま公園満12歳の式典が開かれる

ふじやま公園開園12年の式典が2月15日に開かれました。栄区の尾仲区長はじめ、多くの来賓、来場者が参加して、式辞に続いて餅つきが行われ、先着200人に紅白の祝い餅が配られました。また前庭で和太鼓「昇龍」のパフォーマンスも披露されました。



## ◆お雛様を前に呈茶会



ふじやま公園では色鮮やかな花桃が咲き間もなく春一色に。3月1日(日)生憎の雨模様でしたが雛飾りの前で呈茶会が催されました。今年新しく仲間入りした昭和初期のお雛様を背景に、掛け軸や季節の花がお客様をお迎えしました。艶やかな雰囲気での優雅な所作、日本独自の文化である茶道を通して多くの人が「おもてなし」の心を体験しました。

## 古民家Q&A 差鴨居

Q: 下座敷と中の間との間の鴨居は大きく立派な部材ですが?

A: この鴨居は断面の高さが大きく、通常の鴨居の役目に加え、屋根の部分を支える梁の役目を兼ねており、「差鴨居(さしかもい)」と云います。差鴨居も敷居と一対になって引き戸、ふすま、障子など建具の枠となり、通常の鴨居と同じ役目を果たしています。しかし差鴨居は通常の鴨居よりも背(高さ)が大きく、柱にほぞ差しとし、柱間の広い部分に梁として構造体の役割をも果たしています。



一般的な寸法は支える柱間が1.5間(2.7m)から3間(5.4m)程度に用いられ、背(高さ)が1尺(30cm)から2尺(60cm)程度です。

旧小岩井家住宅では差鴨居が7ヶ所あり、主に南北方向に用いられています。下座敷と中の間とにある差鴨居は柱間が3.6m、高さが39cm、幅が14cmです。その他の差鴨居も一般的な寸法であり、古民家に重量感と安定感を与えています。例えば大黒柱には二方からの差鴨居が差込まれていますが、まさしく大黒柱と共に主屋を支えています。



この時期、小学生の団体が古民家を訪れるのをよく見る。聞いてみると3年生の社会科の授業の一環で「昔の暮らし」と言う課題で勉強しているのだ。昔の暮らしなら確かに古民家はぴったりの題材だ。と思ったら、少し早合点だった。彼らが習う「昔」というのはせいぜい40~50年前のことらしい。公園のボランティアの少年少女時代のことが、もう昔の暮らしとなってしまふ。確かにスマホどころか、固定電話さえ庶民には縁遠く、洗濯機、冷蔵庫、炊飯器が三種の神器と呼ばれたのだから昔には違いない。それよりもっと昔から息づいてきた古民家と里山って、結構な存在感だね。



## カラスノエンドウ マメ科



春、野原や道端に生えるツル植物。巻きひげを絡めて茎は1m以上に伸びる。小葉は8~15枚、羽状で先端に3本の巻きひげを伸ばす。葉には蜜腺があり、アリを呼んで外敵を追い払うとか。3月~6月、花は赤紫色をした蝶形に咲く。花後の豆果(5~10個)は黒く熟してはじける。先端の若芽を摘んで天ぷらや炒め物に、特有の風味があり美味しい。別名、ヤハズノエンドウ。

### 『いろり辺雑記』 から (原文のまま)

ふるさとの母を思い出しました。昔のものは本当に人間の気持ちが入っているように思います。今日は、おひなさまも見物し、楽しい1日になりました。

(70歳代 仲間と)



### ふじやま公園でポイントラリー 参加者締め切り間近です!

ザクラやミツマタの咲くコースを、地図を見てポイントを見つけてスタンプを押して帰ってきます。素敵な参加賞がもらえ、おいしいぜんざいも振舞われます。5人1組で富士塚を始めとした地図上に示された5ヶ所のポイントを順に巡って帰ってくるというもの。親子や兄弟で、また近所の人を誘っての参加をお待ちしています。公園事務所にウォーキングポイントリーダーが設置されています。



### ◆公園を学ぶ「ふじやま学級」が今年も続きます

ふじやま公園のことをもっと深く「勉強」しようというふじやま学級が昨年11月に開講、10人以上のボランティアが、毎週公園のいろいろなことを学びました。勉強熱心な学級生たちは今年も勉強を続けようと、月に1度集まることにして、3月の根岸の柳下邸と県立歴史博物館を皮切りに、いろいろ見学したりふじやま公園のイベントを手伝ったりすることになりました。

### 平成27年度4月ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	3日(金)	古民家歴史部会 部会	12日(日)午前
農芸部会 部会	20日(月)	古文書解読勉強会	12日(日)午後
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	8日(水)
里山部会 作業	11日(土) 18日(土)	クリーンアップ	7日(火) 21日(火)
	26日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	8日(水)	ふじやまだより編集会議	6日(月)
子ども工作準備	適時	印刷	13日(月)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	5月3日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

## 体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作	4月19日(日)10時～12時 " 13時～15時	カラフルぶんぶんこま (親子、小学生対象)	無料	当日各先着 10名
布ぞうり作り	5月 8日(金)10時～15時	一日で一足完成します	700円	4月20日(月) 12名
押し絵 (全2回)	5月12日(火)13時～16時 5月26日(火) "	ミニ色紙に初夏の花、2種	1,500円	4月30日(木) 12名
七宝	5月15日(金)13時～15時	すかし模様のペンダント	600円	4月30日(木) 6名
初心者茶道 体験教室	5月16日(土)13時～16時	日本の「おもてなしの心」を 茶道を通して体験してみま せんか(持参:白いソックス)	500円	4月30日(木) 10名
里山そば打ち塾	5月23日(土)10時～12時	美味しいそばを打てます。 自分で作った物の試食	800円	5月12日(火) 6名
伝統工芸 「鎌倉彫」を彫る (全2回)	5月24日(日)13時～16時 5月31日(日)10時～15時	平皿にアジサイ文を彫ります	2,000円	4月30日(木) 10名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて  
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ 端午の節句 五月人形飾りと鯉のぼり

主屋座敷に五月人形を飾り、前庭に鯉のぼりを掲揚します

日 時：4月22日(水)～5月18日(月)

呈茶会：5月3日(日) 11時～15時 場 所：古民家主屋  
先着30名 300円

★ 寺子屋(6) 横浜町名考 その由来と縁起

日 時：5月9日(土)13時～15時30分 場 所：工作棟

定 員：15名 申込み：往復はがきで4月30日(木)までに 多数の場合は抽選

★ いろいろ端むかし話の会

いろいろの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでみませんか

日 時：4月16日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろいろ端  
定 員：15名 当日参加自由 無料



★ 2月ふじやま公園来園者数 2,921名 平成26年度累計 25,238名

・開館時間：9時～17時
・入館料：無料
・休館日：4月1日(水) 毎月第1水曜日
・クリーンアップ：4月7日(火) 21日(火)10時～11時 一斉清掃

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷 1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593